

# 工業部会通信

毎月1回発行  
(第3木曜日)

編集：かながわ経済新聞  
代表：千葉龍太  
〒252-0239  
相模原市中央区中央3-12-3  
TEL：042(851)3021  
プリントしてご自由に  
お読み下さい。



## ベスト・アクション表彰

# 近未来研が受賞

まちづくりの推進や地域活性化などで顕著な貢献をしている会員などを表彰する関東商工会議所連合会の「ベスト・アクション表彰」に、近未来技術研究会（西澤勇司会長）が選ばれた。同研究会は発足以来、会員間の技術交流をはじめ、新分野進出、海外への事業展開などをテーマに活動。実際に成果につなげた会員企業も出ている。こうした活動が認められた。

## 関商連が決定

同研究会は、工業部会下部組織として平成11年に発足。「近未来」と称する通り、3～5年以内

紀の産業課題▽中国市場開拓▽有機EL技術▽水素エネルギー▽ロボット技術▽再生医療▽ミャンマー市場開拓などがあ

も努めている。今回受賞した「ベスト・アクション表彰」は各商

## 関東経産局長から表彰 マーク電子の村山社長



受賞した近未来研西澤会長（写真左）と杉岡会頭、村山社長（写真右）

工業部会会員のマーク電子・村山忠雄社長が、関東経済産業局長表彰を受けた。

「組織運営や事業活動がとくに優良で、他の商工会議所の範とするに足ると認められる」とする議員に贈られるもの。

最近では市内製造業の若手経営者を対象とした「モノづくりビジネススクール」で講師として、後継者育成に貢献した。

## 新エネ分野参入余地は？

### GETプロが講演会開催

環境・新エネルギー産業の成長と中小企業にとってのビジネスチャンス

上泰生氏が講師を務めた。低炭素社会に対する機

運が高まっているなかで、国内でも環境・新エ

ネルギーの市場拡大が期待されている。講演では、海上氏が太陽光と風力発電について

国内外での動向を話した。「世界では太陽光より風力発電機がポピュ



市場動向について解説する海上氏

海上氏は「大企業が独占的にやられているように

事例を挙げた。海上氏が示した事例をみると、同分野に自発的に参入した企業では、「市場へのアプローチ」から

電力中央研究所視察会7月開催

参加5000円。定員30人まで。視察後には交流会を開催する予定。

技術をアピールして大型受注を受けたケースなどがあるという。

視察交流会では、電力をはじめとするエネルギー産業への知見を広げるため、電気・原子力工学などの研究分野で、世界有数の規模と性能を誇る「電力中央研究所」を視察する。



さあ、5年後の未来を見に行こう。

## 新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会